

適用規格		---			
定 格	使用温度範囲	−40℃ ~ +90℃ (90%RH MAX)	保存温度範囲	−20℃ ~ +70℃ (90%RH MAX)	
	電 力	— W	特性インピーダンス	50 Ω (0 ~ 6 GHz)	
	特 殊 性	—	適合コネクタ	X. FL-R-SMT-1	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		—	—
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	10 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 25 mΩ以下 外部コネクタ 10 mΩ以下	○	—
	絶 縁 抵 抗	DC 100Vで測定する。	500 MΩ以上	○	—
耐 電 圧	AC 200Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—
	電 圧 定 在 波 比	周波数 0.045 ~ 3 GHzにて測定する。	VSWR 1.3 以下	○	—
挿 入 損 失	周波数 3 ~ 6 GHzにて測定する。	VSWR 1.5 以下			
	挿 入 損 失	周波数 --- ~ ---GHzにて測定する。	--- dB以下	—	—
機 械 的 性 能	単 体 挿 抜 力	φ0.34±0.002 の鋼製ピンで測定する。	差込力 --- N以下	—	—
	引抜力 0.1 N以上		○	—	
総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。	差込力 30 N以下	○	—	
		引抜力 3 N ~ 20 N	○	—	
繰 り 返 し 動 作	20 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネクタ 30 mΩ以下 外部コネクタ 15 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
耐 振 性	周波数 10 ~ 100 Hz, 片振幅 1.5 mm, 加速度 59 m/s ² で 3軸方向 各 5サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
				○	—
耐 衝 撃 性	加速度 735 m/s ² 、持続時間 11ms, 正弦半波 6 軸方向 各 3回試験する。			○	—
				○	—
ケーブルクランプ 部の引っ張り強度	— N以下の引張力(20mm/min以下)を ケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ 部の破損がないこと。		—	—
				—	—
環 境 的 性 能	耐湿性(定常状態)	温度 +40 °C, 湿度 95 %中に --- サイクル(96 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温 度 サ イ ク ル	温度 −40 → — → +90 → — °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。		○	—
				○	—